

(別紙5)

整理番号 2021P-111
補助事業名 2021年度 障害のある人が幸せに暮らせる社会を創る活動補助事業
補助事業者名 一般社団法人 全国肢体不自由児者父母の会連合会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

①障害児者と家族、支援者のための指導誌と機関誌の発行

毎年度の中央省庁（厚労省、文科省、国土交通省、内閣府）の予算ヒアリングや政策などを掲載するとともに、都道府県肢連の活動内容、指導者育成セミナーなど各種研修会の実施報告などを通し広く障害児者福祉施策の向上に努めるものとする。指導誌については、専門家の観点から障害児者の体系、素材・補正用具の必要性など具体的指導で障害部位の軽減を図ることを目的とする。

②障害児者と家族、支援者の地域交流と療育訓練事業

1. 正しい知識の普及と支援者を育成し、孤立を防ぐために交流の場、機会を増やす。
2. 集団行動で社会性の向上を図るとともに、社会的自立心を養成する。
3. 身体の硬直を防ぎ日常生活に支障がないようにする。
4. 障害当事者に適した介護方法を習得し、本人や家族への負担を軽減し、地域に普及していくことが大事である。また医師及び学識経験者、専門指導員等による訓練方法や療育方法を習得して生活指導を通じて日常生活における交流も図る。

③居宅、GHで生活する障害児者の障害福祉サービス及び住まいの向上に繋げるセミナー

三障害一元化となり、障害福祉制度は向上してまいりましたが、重度障害児者（医療的ケアを含む）、肢体不自由児者は生活全般の中で食事、排せつ、入浴について1部あるいは全介助を必要としている利用者にとって必要時間を確保できなくサービスそのものが抑制されることがあってはならない。常時車いすを利用せざるを得ない障害児者にとって車いすは「足」そのものであり、地域生活支援事業に限られることのない、通学困難な状況をなくし安定した就労が継続できるため、関係省庁独自の政策で利用者のための利用形態にすることを目的とする。

(2) 実施内容

①障害児者と家族、支援者のための指導誌と機関誌の発行

(<https://www.zenshiren.or.jp/publics/index/224/#block1397>)

指導誌「療育ハンドブック」1回発行

機関誌「いずみ」2回発行

(別紙5)

指導誌「療育ハンドブック」

ア 令和3年12月20日発行 B6版 108ページ 3000部

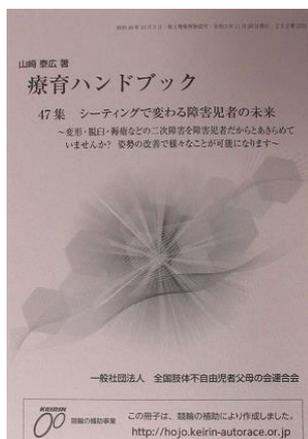
肢体不自由児者にとって日常生活を快適に過ごすために必要な補装具。本誌では移動や生活に必要な車いすで生じる二次障害と褥瘡等を予防し、姿勢を正しく保つことに効果のあるシーティングを取り上げた。障害があるから二次障害が生じるのではなく、障害があることで正しい姿勢がとれなくなり、その悪い姿勢によって二次障害が生じる。二次障害はシーティングによって予防できることを障害当事者である筆者自身の体験を交え書かれている。また、シーティングとは何かを詳細に掲載。

機関誌「いずみ」

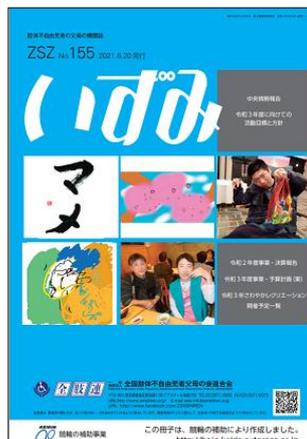
イ 155号 令和3年6月20日発行 A4版 24ページ 2000部

ウ 156号 令和3年12月20日発行 A4版 32ページ 2000部

「いずみ」155号では、2021年度の厚生労働省、内閣府、国土交通省の施策概要を報告。156号では各ブロックを通じて全国より寄せられた「令和4年度予算要望」について、厚生労働省各部署の担当者からの現状と今後の見込み等の説明、意見交換を行った後、予算要望項目と回答を掲載。また、JKA補助事業「令和3年度地域指導者育成セミナー報告（福祉サービス（重度訪問介護・GH）の課題と実態について）」を掲載。7ブロック参加者からそれぞれ寄せられた感想を掲載。実施内容を詳細に報告することで参加者以外の会員へも広く情報提供した。



療育ハンドブック 47



いずみ 155



いずみ 156

(別紙5)

②障害児者と家族、支援者の地域交流と療育訓練事業

(<https://www.zenshiren.or.jp/publics/index/224/#block1993>)

- ア 令和3年11月19日(日帰り)大阪府青木松風庵月化粧ファクトリー 14名
月化粧ファクトリーにて製造工程を見学し、昼食。
- イ 令和3年11月20日～21日(日帰り2日間)
広島市心身障害者福祉センター 22名
講師を中心とした専門指導員によるインテーク(問診)と訓練を行った。コロナ禍で身体を動かす機会が減ったことに悩む保護者を対象に講師や専門指導員による正しい訓練方法の指導が行われた。



大阪府



広島県

③居宅、GHで生活する障害児の障害福祉サービス及び住まいの向上に繋げるセミナー

(7か所)

(<https://www.zenshiren.or.jp/publics/index/224/#block1395>)

重度の障害児者・医療的ケアが必要な児者が年齢を重ねその時独に対応する医療療育を研修し生涯を通し生活できる住まいのあり方を学ぶセミナーを開催。

- ア 令和3年10月30日～31日 22名 北海道 かでる2. 7
- イ 令和3年10月30日～31日 32名 愛媛県 愛媛県身体障がい者福祉センター
- ウ 令和3年11月4日～5日 32名 山梨県 ホテル石風
- エ 令和3年11月13日～14日 22名 愛知県 産業労働センター「ウインクあいち」
- オ 令和3年11月20日～21日 34名 大分県 B-Con Plaza別府コンベンションセンター
- カ 令和3年12月4日 35名 兵庫県 兵庫県福祉センター
- キ 令和3年12月18日～19日 18名 宮城県 エスポールみやぎ

(別紙5)



北海道



愛媛県



山梨県



愛知県



大分県



兵庫県

(別紙5)



宮城県

2 予想される事業実施効果

①障害児者と家族、支援者のための指導誌と機関誌の発行

ホームページ上に会員ページを設け情報発信を行っているが、高齢の会員が多いこともあり、依然として紙媒体での情報提供ニーズが高く、電子媒体のみの情報発信は現状では難しい。だが、世の流れで紙媒体での需要が減速傾向にある中、情報格差が生じないように引き続き電子媒体からの情報収集方法、インターネット利用促進と必要性について機関誌等での情報発信を根気強く続けていく。

②障害児者と家族、支援者の地域交流と療育訓練事業

今後しばらくは続くであろう新型コロナウイルス感染症禍において、専門家指導の下でのリハビリ訓練を受けることは障害児者の健康維持に必要不可欠であることから、今後も感染予防対策を入念に行い訓練が実施できることを周知し、障害児者の身体と心の健康につとめていく。

③居宅、GHで生活する障害者児の障害福祉サービス及び住まいの向上に繋げるセミナー

会員(親)の高齢化が進む中、今後各地域で中心となっていく若い指導者の育成が急務である。次世代を担う会員が本セミナーに参加し障害福祉施策の現状・課題について学ぶことは人材育成と会の活性化につながる。また、他県の会員と交流・情報交換を行なうことで地域間格差がうきぼりとなり、それぞれの地域で抱えている課題解決へつなぐ機会となる。

(別紙5)

3 補助事業に係わる成果物

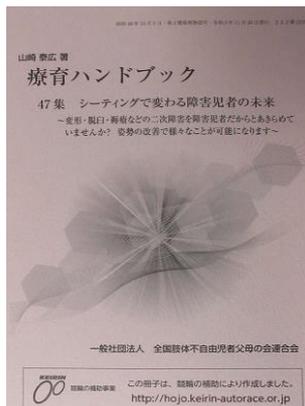
(1) 補助事業により作成したもの

<https://www.zenshiren.or.jp/publics/index/224/>

①障害児者と家族、支援者のための指導誌と機関誌の発行

指導誌「療育ハンドブック」1回発行

令和3年12月20日発行 B6版 108ページ 3000部



機関誌「いずみ」2回発行

令和3年6月20日発行 A4版 24ページ 2000部

令和3年12月20日発行 A4版 32ページ 2000部

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般社団法人 全国肢体不自由児者父母の会連合会

(ゼンコクシタイフジユウジシャフボノカイレンゴウカイ)

住所： 〒170-0013

東京都豊島区東池袋1-36-7 アルテール池袋709

代表者： 会長 清水 誠一 (シミズ セイイチ)

担当部署： 事務局

担当者名： 原田由美子

電話番号： 03-3971-3666

F A X： 03-3971-6079

E-mail： zenshiren@zenshiren.or.jp

U R L： <https://www.zenshiren.or.jp/>